

■柴 優子（看護部 ICU 副看護師長）平成 27 年 8 月 30 日 ～ 9 月 5 日

この度、当院の事業であるベトナム南部の拠点病院であるチョーライ病院への医療技術協力の一環として、集中治療領域での看護師として参加する機会を頂きましたので報告させていただきます。

私がチョーライ病院を訪れたのは、2015 年 9 月 1 日から 9 月 5 日でしたが、実際には 4 日間の病院滞在となりました。病院に到着した際は、多くの人で混雑し最初は病院に着いたとは思えませんでした。そんななかで緊張している私を、看護部の方々をはじめとして皆さんが暖かく迎えて下さり、すぐにリラックスして過ごすことができました。

まず驚いたのは、看護師が国家資格ではないということでした。看護部には、全看護スタッフの名前が病棟、色別で分けられて表示されていました。看護教育をそれぞれ 2 年間、3 年間、4 年間受けたスタッフによって分けられていましたが、ベトナム国内で看護学の修士課程や博士課程をとれる大学がないため、タイや香港など国外の大学院に進む必要がある、ということでした。2 年間の看護教育を受けた後に働いているスタッフが多く、また、他病院の看護師がチョーライ病院に学びに来ているため、教育体制を構築するために力を入れなければならない、と看護部長の Hanh さんは話されていました。チョーライ病院には General、Trauma、Neurosurgery、Cardiac の 4 つの ICU があり、どの ICU も患者さんが所狭しと並んでおり、病床数はあつてないようなものでした。そのなかで私が過ごしたのは General ICU でした。General ICU に入室するのは、敗血症や呼吸不全などの患者さんで、当院とは違い完全に close ICU のシステムであり、全ての患者を集中治療医が管理しています。1 人の看護師が 4～5 人の患者を受け持つため、なかなか十分な医療が提供できない、ということにジレンマを感じながら働いているようでした。しかし、非常に印象的だったのは、看護師の皆さんはどうしたらもっと良い看護が提供できるか、何を改善したらよいか、ということに非常に意欲的であったことです。そのため、私がプレゼンテーションを実施した日は、夜勤以外は全員日勤にしてできるだけ全スタッフが参加できるようにと THI 師長さんが配慮してくださっていました。また、気管チューブ固定のデバイスであるアンカーファストはあるが使用方法に不安があるため使用できないままである、ということでチューブ固定を実際にさせていただいた際には、多くのスタッフが自分の携帯で動画や写真をとりまくっていました。（工作中でも携帯を持ち歩いているのは普通のことのようです。）そして、体位変換や清拭などのケア方法、褥創予防や感染予防、肺炎予防に関する実践、痛みの評価方法や栄養療法、機器の使用方法など多くのことを連日ディスカッションすることができました。また、それらは今後研修を受け入れる上で、どんなことに焦点をあてて見てもらい伝えるべきか、ということを考えるのに大いに役立ちました。

残念だったのは、可能なコミュニケーションが英語であったため、ICU でも 2～3 人のスタッフとしか話すことができなかつたことです。私自身も、英語が堪能なわけではないため、細かい部分の話になると非常にもどかしさを感じました。しかし、看護部には Hien さ

んという日本の看護師免許を取得するほどの日本語が堪能な方がいらっしやったため、彼女がいる際は、日本語とベトナム語を翻訳してもらい、非常に力を貸していただきました。

私にとって、ベトナムに行くのは初めてのことでしたが、直前までベトナムのことを調べる時間もなく、予備知識がないまま慌ただしいなかで出発となりました。何より印象的だったのはベトナムの交通事情です。バイクの交通量が非常に多いうえに、赤信号以外ではどんな場合でも一時停止することはありません。道路を横断するのはまさに命懸けです。ほとんどの病院のスタッフがバイクで通勤しており、なかには40分以上もかけて通勤されている方もいました。また、滞在中にベトナムの独立記念日と重なったこともあり、ICUのUYENさんと師長のTHIさんが戦争博物館や旧大統領官邸へ案内してくれました。お2人だけでなく、チョーライ病院のスタッフの皆様は友好的に迎えてくださり、病院の外でも非常に充実した日々を過ごすことができました。

今回のベトナム滞在中、お世話になりましたチョーライ病院の方々に感謝いたします。そして、今回お世話になりました秋山先生をはじめとした国際連携室の皆様にも感謝申し上げます。



General ICUの様子



看護スタッフ、Hanh 看護師長（昨年度本院にて研修）と。



亡くなられた方を偲んでの供養が行われていました。